

北東アジアOSS推進フォーラム WG4(Pilot-project)活動報告



2011年11月21日

WG4 日本代表 吉田 正敏

本日の説明内容

- WG4の活動目標
- WG4設立の思い
- WG4設立までの道のり
- 今後の活動内容

北東アジアOSS推進フォーラム(2011.10.18西安) 議長声明文

CJK Chairmen support to build up Northeast Asia OSS ecosystem. The Forum decides to organize **Application Promotion Working Group** under the Forum, named as WG4. It is intended to carry out tasks on OSS application model and market environment research and to spread and apply CJK's OSS achievements.

名称: Application Promotion WG (OSS適用推進WG)

ミッション:

- A) OSS適用システムの対象市場調査
- B) OSS適用システムのモデル事業実施
- C) 日中韓でのOSS適用システム開発成果の横展開

WG4設立の思い(STEP1)

STEP1:三国の新規活動として、事例構築のために、モデル事業による成功事例を構築
(これまでの成果を踏まえ、アプリケーション領域に重点を置く)



WG4設立の思い(STEP2)

STEP2:アジア諸国への展開 : NEAOSSとASEANの連携

北東アジアOSS推進フォーラム



Cooperation



Asia OSS Centers Alliance



India



Thailand



Sri Lanka



Malaysia



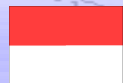
Vietnam



Philippines



Singapore



Indonesia

(ASEAN+α)

Philippines : CICT

Vietnam : MIC / MOST

Malaysia : MAMPU / OSCC

Singapore : UNISIM

Indonesia : RISTEK / POSS-Network

Thailand : NECTEC

India : C-DAC

Other Countries:

Sri Lanka, Pakistan, China(広東, 香港, 澳門), Japan(IPA)

WG4発足までの道のり(1/2)

1. WG4構想の日中韓調整

2010年7月 日中で以下を議論

- ビジネスに直結した活動
- Pilot-projectを開発して、OSS適用モデルを開発
(対象例: 中国地方都市の電子政府システム)
- これらの成果を日中韓以外の地域に拡大

2010年9月 日中韓で議長声明文を検討

- 北東アジアOSS推進フォーラム(11月ソウル)の
議長声明文でのPilot-project文言を検討

2010年11月 日中韓で議長声明文作成

- 北東アジアOSS推進フォーラム(11月ソウル)の
議長声明文でのPilot-project文言を検討

NEA OSS Promotion Forum will discuss future directions
and launch applications of model projects.

2. WG4前身のModel Project活動

2011年1月 日韓で以下を議論

- 中国地方都市の電子政府システム向け分担案
- 日中韓以外の横展開(中央アジア等)

2011年3月 日中韓でTF設立

- 中国CSIP)Liuさんを主査にModel ProjectnoTF発足

2011年3月 中国電子政府会合(南昌市)に参加

- 韓国NIPA)Kimさんが、Model Projectを紹介

2011年4月 日中韓でウルムチ市を視察

- 新疆ウイグル自治区 IT関係No.2参加の打合せ
- 自治区のOSS/電子政府状況の報告
- 新疆教育分院/Honglian Information社/Jwsoft社訪問

2011年9月 日中韓で議長声明文(作成)作成

自治区のOSS/電子政府状況

一省のIT状況

- ・インターネットユーザ158万人、CATV181万台、電話普及率26%(携帯はその内53%)

一電子政府状況

- ・端末136万台、有線5300Km(光ファイバー長20万Km)、接続は有線/CATV/衛星通信。
- ・電子政府のサービスは、イントラネット中心で市民サービス/社会管理システム等のinB。

一OSS利用電子政府状況(農業用システム)

- ・クライアントOSは、崑崙(クンリン)Linux (Kernel2.6.22) を利用。
- ・遊牧民の移動式テント等でも利用可能な様に衛星を利用して、データ以外にソフトのパッチも配布。
- ・クライアントソフトは、CD一枚で簡易インストール可能。
- ・OpenOffice/FireFoxを利用。
- ・13民族向けの多言語化も実施済み。



1. OSS適用システムの対象市場調査
 - ・日中韓で、対象市場を絞り込み、調査手順を検討
 - ・各国の提案市場を、別の国でも調査
2. OSS適用システムのモデル事業実施
 - ・市場を定めて、実際のモデル事業を推進
3. 日中韓でのOSS適用システム開発成果の横展開
 - ・日中韓以外の国にも、モデル事業の成果を活かして展開



今後の活動詳細が決定次第、参加企業を募りたい

